

## 授業科目名

ICT活用とプロジェクト演習

## Course Title

PROJECT BASED EXERCISE BY GOOD USE OF INFORMATION & COMMUNICATION TECHNOLOGY

## サブタイトル(任意)

## 担当者名

久東光代、星名由美

## 授業コード/Registration Code

134017201

## 開講キャンパス/Campus

西生田キャンパス

## 開講年度学期/Academic Year, Semester

2020 年度前期、2020 年度後期

## 開講期・授業区分/Class Category

週間授業

## 単位数/Credits

4.0 単位

## 年次/Year

1 年

## ナンバリング/Course Numbering

POI-D4-4-1-03-2

## 授業の概要/Course Summary

プロジェクトというと、オリンピック開催や地球温暖化対策など国や企業が行う大きな計画が思い浮かびますが、「友人と映画に行く」のような身近な計画も条件を満たせばプロジェクトとして成立します。その成立条件とは、一体、何でしょうか？また、社会に出ると、プロジェクトに携わり、目標達成に向けて問題を解決し実現する力、ICT スキルやコミュニケーション力、チームで円滑に活動できる力が求められます。これらの力は、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」として企業も注目しています。これらの力をどのように身につけたらよいのでしょうか？

この科目では、社会に出てから求められる実践力を身につける目的で、教室内での知識・技能の習得だけでなく、実際の地域社会に出て、イベント企画や商品開発などのプロジェクト活動を通して実践的に学びます。また、どのような問題や課題にも適用できる問題解決モデルに基づいたプロジェクトの進め方を学ぶことで、実践的な問題解決力が身につく、さまざまな場面で応用できるようになることを目指しています。

プロジェクトは、ひとりではなくチームで協力し考え工夫することで、達成と成功が可能になります。学んだ問題解決力を発揮しつつ、ICT を効率よく活用し、失敗からも学び、成功した達成感や楽しさを体験し力にしてください。

## 授業の方法/Course Approaches or Methods

この授業は年間科目で、前期、後期を通して学習します。

前期の授業は自宅学習主体の遠隔型で、manaba という Web 上でアクセスする LMS(学習管理システム Learning Management System)とオンラインミーティングシステム(Zoom など)を活用します。初心者の方でも履修者のみなさんが安心して学習できるよう丁寧に説明し質問対応もしていきます。まず、manaba が使えるパソコンおよびネット環境を整えてください。問題解決のモデルやプロジェクトについて学んだり、ICT を活用した企画書・ポスターなどの文書作成、manaba の掲示板やオンラインのコミュニケーションツールでグループワークにもチャレンジしていきます。

後期の授業は大学キャンパスにおける対面型で、教室での学習(個人学習、グループ・チームでアクティブラーニング)と、実際に地域に出てチームで企画したプロジェクトを具体的に企画し準備および実行する予定ですが、状況に合わせ

て課題内容を考えます。成果発表会および報告書の作成も行います。

今まさに、新しい働き方やコミュニケーションのあり方について変革が求められています。みなさんで、様々な方法を体験しながら、一緒に問題解決的に学んでいきましょう！

## 学位授与方針との関係/Relations with Diploma Policy

大学 DP3 大学 DP4

## 授業の到達目標/Course Goals

次のような実践力を身に着けることと関連する知識・技能を習得することを本授業の到達目標とする。

### I プロジェクトを進めるための手順・行動に関わる次の力を身に着ける

- (1)企画する力
- (2)情報を収集・分析する力
- (3)情報を発信・表現する力
- (4)プロジェクトをマネジメント(管理)する力
- (5)プロジェクトを実行する力

### II プロジェクトを円滑に進めるための次のスキル・見方・考え方を身に着ける

- (6)人とコミュニケーションや交渉する力
- (7)プレゼンテーションする力
- (8)チームで円滑に活動する力
- (9)プロジェクトを前へ動かしていく力
- (10)ICT を活用する力
- (11)自ら考えチームで協力して課題を解決する力

## 授業計画(半期 14 項目、通年 28 項目 回数毎の内容含む)/Course Plan

※ここにある授業計画は、すべて対面での学習を想定して立てられています。今回、前期が遠隔授業になったこと、社会情勢を考え、授業内容を変更することがありますのでご了承ください。変更については、manaba で、随時、お知らせします。

《前期》 manaba 主体で遠隔授業 ※プロジェクト活動に関する基礎演習

#### 第 1 回 プロジェクトを推進する ICT 活用(1)

- ・オリエンテーション、プロジェクトとは何か？

#### 第 2 回 プロジェクトを推進する ICT 活用(2)

- ・自己&グループ紹介文の作成

#### 第 3 回 身近なテーマで学ぶ問題解決(1) ゲーミング

- ・問題解決の基本学習、ICT を活用した情報収集

#### 第 4 回 身近なテーマで学ぶ問題解決(2)

- ・情報収集結果のグループプレゼンテーション

#### 第 5 回 地域活動の事例で学ぶ問題解決(1)

- ・シミュレーション教材で企画立案とより良い手順を学習

#### 第 6 回 地域活動の事例で学ぶ問題解決(2)

- ・シミュレーション教材で企画推進のための ICT 活用を学習

#### 第 7 回 模擬イベントの企画と実践(1)

- ・目標と制約条件の設定、情報収集(グループ)

#### 第 8 回 模擬イベントの企画と実践(2)

・アイデア出しとブレインストーミング、企画書の作成

第9回 模擬イベントの企画と実践(3)

・時間管理・工程表、役割分担の決定  
・効果的なポスター作成

第10回 模擬イベントの企画と実践(4)

・効果的なポスターの評価・改善  
・試作、タイムスケジュール調整

第11回 模擬イベントの企画と実践(5)

・模擬イベント準備  
・スタッフマニュアルと参加者手順書の作成

第12回 模擬イベントの企画と実践(6)

・模擬イベントの実施

第13回 模擬イベントの企画と実践(7)

・模擬イベントのふり返し、報告書の作成

第14回 模擬イベントの企画と実践(7)

・模擬イベントのふり返し、報告書の作成

《後期》 大学で対面学習 ※チームによる地域プロジェクト活動の実践

第1回 地域プロジェクトを始める前に

・地域プロジェクト活動の進め方と問題解決モデルの復習

第2回 地域プロジェクトを始める(1)

・目標達成に向けたチームづくり

第3回 地域プロジェクトを始める(2)

・地域に関する情報収集と分析

第4回 地域プロジェクトを推進する(1)

・アイデア出しと企画の検討

第5回 地域プロジェクトを推進する(2)

・不確定要素を含む企画の決定と企画書の作成

第6回 地域プロジェクトを推進する(3)

・工程表と作業一覧の作成、役割分担の決定  
・対外的なコミュニケーションと交渉

第7回 地域プロジェクトを推進する(4)

・交渉後の計画の調整  
・チーム内の問題解決と地域との合意形成

第8回 地域プロジェクトを推進する(5)

・広報・宣伝の方略の工夫と情報発信

第9回 地域プロジェクトを推進する(6)

第10回 地域プロジェクトを推進する(7)

第11回 地域プロジェクトを達成する(1)

・地域連携プロジェクトを実施する

第12回 地域プロジェクトを達成する(2)

・ふり返しとまとめ、会計報告・報告書作成準備

### 第 13 回 地域プロジェクトを達成する(3)

・チーム報告書と個人報告書の作成

### 第 14 回 成果発表会の実施

※実際の授業では、履修者の希望や学びの状況をみながら柔軟に進めていく。

#### ★全体を通じて★

a.個人・チームで実施した各課題・演習結果、成果は各自で保管し、最後に全体報告書を作成する。

b.授業時限(金4)以外の時間にも、必要に応じてチームで準備活動を行う。各自の都合を適切に調整し全員が協力してプロジェクトの達成を目指して主体的に活動すること。

c.学外連携先での活動:生田緑地、地域の小学校などでイベント開催を 12 月上旬の土日に予定

#### 成績評価の方法/Methods of Evaluation

実施した課題や演習で提出したワークシート、企画書、報告書などの成果物の評価結果、課題や実習への取り組みの度合いやコミュニケーションの回数などを総合し、60%以上を、合格とする。

#### 授業外学修(準備・事後学習等に必要な時間・具体的な内容)/Prep&Review

この授業で行うプロジェクト活動は、週 1 回の授業時間の活動だけでは達成が難しい。常にプロジェクト全体を見通し、授業時間外も、グループ・チーム内の連絡、学外連携先とのこまめな連絡やコミュニケーションおよび担当教員への報告・連絡・相談を維持し、プロジェクトを円滑に進行させ達成に導くこと。

#### 使用テキスト/Text to be used

教員が作成する教材プリント、および、情報関連授業 Web <http://mcn-www.jwu.ac.jp/~info-edu/>

#### 参考書(参考資料等)/Reference Books

授業内で、適宜、紹介する。

#### その他(受講生への要望)/Notes, Message to Students

この科目は年間科目ですが、前期は遠隔型で授業を実施します。5月7日(水)の遠隔授業開始時まで、自宅にパソコンおよびネット接続環境を準備できる方が履修してください。

履修方法は、4月13日(月)より、JASMINE-Navi か、各学科の manaba のオリエンテーション・ガイダンスの画面より閲覧できますので、よく読んで履修申込をしてください。

授業の詳しい様子は、ここで配布した「20 情報関連授業履修ガイド.pdf」をご覧ください。また、履修前に質問のある人は、担当の久東 [kuto@fc.jwu.ac.jp](mailto:kuto@fc.jwu.ac.jp) 宛に、メールで気軽に質問してください。

頭で考えるだけでなく実践し行動することからも学び、チーム活動でしか得られない楽しさや魅力を、ぜひ体験し、力にしてほしいと思います。

パソコン操作を含む ICT スキルやグループワークに苦手意識がある人こそ、ぜひ履修し、一緒にゼロから学んで自信をつけてください。

#### 学位授与方針(※参照用)/Diploma Policy

共通科目(学科科目以外)

[https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/ilcp490000000ayo-att/syllabus\\_DP\\_code\\_unv.pdf](https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/ilcp490000000ayo-att/syllabus_DP_code_unv.pdf)

学科科目(各学科カリキュラム・ツリーより参照してください)

<https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/curriculum.html>

大学院

[https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/ilcp490000000b0m-att/syllabus\\_DP\\_code\\_grd.pdf](https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/ilcp490000000b0m-att/syllabus_DP_code_grd.pdf)

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表(※参照用)

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

[https://unv.jwu.ac.jp/unv/academics/curriculum/ilcp4900000082x1-att/kyoin\\_kamoku.pdf](https://unv.jwu.ac.jp/unv/academics/curriculum/ilcp4900000082x1-att/kyoin_kamoku.pdf)

授業形態の種類 ※必須

C